



令和7年度

奈良県職員採用選考試験案内（任期付職員）

<事務（特別弔慰金支給業務）>

令和7年6月23日
奈良県総務部
行政・人材マネジメント課

受付期間 令和7年6月23日（月） ～ 令和7年7月3日（木）

※ 募集に関する問い合わせ及び応募先は、
奈良県総務部行政・人材マネジメント課
採用係

〒630-8501 奈良市登大路町30
電話 0742-27-2052
(ダイヤルイン)

1. 募集内容

採用職種	勤務地	採用予定 人 員	職 務 内 容
事務 (特別弔慰金支 給業務)	奈良県福祉保険部地域福祉課 (奈良市登大路町30)	1名	奈良県福祉保険部地域福祉課の職員として、特別弔慰金の支給にかかる業務に従事する。

2. 任用期間

令和7年9月1日から令和10年3月31日まで<予定>

3. 応募資格

次のいずれにも該当しない人（地方公務員法第16条に該当しない人）

- ・ 拘禁刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- ・ 奈良県職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
- ・ 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

※国籍についての要件

- ・ 日本国籍を有しない人は、在留活動に制限のない日本国在留の資格を有する場合に応募できます。
- ・ 「日本国籍を有しない人は、公権力の行使又は公の意思形成への参画に携わることはできない」とする公務員に関する基本原則に基づいた任用がなされます。

4. 選考日程・会場・合格者発表

	日 程	会 場	合 格 者 発 表
第一次選考	書 類 選 考 「6. 応募手続」に従い、令和7年7月3日(木)17時までに必要書類を提出してください。	_____	令和7年7月11日(金) 第一次選考応募者全員にメールにて合否を通知します。
第二次選考	令和7年7月15日(火) 又は16日(水)【予定】 詳細については、第一次選考合格通知の際にお知らせします。	奈良県庁内【予定】 詳細については、第一次選考合格通知の際にお知らせします。	令和7年7月24日(木) 第二次選考出席者全員にメールにて合否を通知します。

5. 選考等の概要

種 目		内 容
第一次選考	経 歴 審 査	応募資格の有無、申込書記載事項の真否、経歴等についての審査
	論 文 審 査	【課題】「戦没者遺族等に対する援護等を今後どのように進めていくべきか」 ※（別紙）の論文作成要領に従い作成してください。
第二次選考	面 接	職員としての適性等について個別面接による選考

※選考の結果により、補欠合格者を出す場合があります。

6. 応募手続

申 込 方 法	「奈良スーパーアプリ」による電子申請 【申込フォームURL】 https://nsa.pref.nara.jp/gap/applicationRegister?appmngid=a03J3000009yLeM&entry=1 【アカウント登録URL】 https://nsa.pref.nara.jp/ctztop/SelfRegister?userType=ctz ※ <u>奈良スーパーアプリによる電子申請が困難である場合は、奈良県総務部行政・人材マネジメント課採用係までお問い合わせください。</u>  申込フォーム  アカウント登録
必 要 書 類	電子申請の際、以下の書類等を提出いただきますのであらかじめご準備ください。各種様式は県ホームページよりダウンロードしてください。 【県ホームページURL】 https://www.pref.nara.jp/1629.htm ※「採用・人材確保」欄に掲載しています。  県ホームページ ① 応募書（様式１）【Word形式】 応募書記入要領に従い作成してください。 ② 顔写真【jpg、jpeg又はpng形式】 上半身脱帽、正面向で６か月以内に撮影したもの。白黒、カラーは問いません。 ③ 論文【Word形式】 （別紙）の論文作成要領に従い作成してください。 ④ 国籍要件等確認書（様式２）【Word形式】 （注意）下記<1>～<5>を記入するもので、（様式２）を提出するか、あるいは（様式２）に則って作成したものを提出してください。 <1> 受験申込者の「日本国籍の有無」（「有」又は「無」のうちいずれかを囲む。） <2> 受験申込者の「在留資格の内容」※日本国籍を有しない人のみが記入 （「永住者」「特別永住者」「日本人の配偶者等」「永住者の配偶者等」及び「定住者」のうちいずれかを記入。） <3> 受験申込者の「生年月日」 <4> 受験申込者の「氏名」 <5> 国籍要件等確認書の「記入日」 ⑤ 応募資格等確認書（様式３）【Word形式】

受 付 期 間	期 間 令和7年6月23日（月）～令和7年7月3日（木） 17時まで ※ 申請後48時間以内（金・土・日曜日に申請した場合は火曜日まで）に申込受付メール（件名：[電子申請]奈良県職員採用選考試験（任期付職員）＜事務（特別弔慰金支給業務）＞手続完了のご案内）が届かない場合は、奈良県総務部行政・人材マネジメント課採用係まで必ずお問合せください。 ※ 締切直前はシステムが混み合う可能性があるため、余裕をもって手続をしてください。
---------	--

7. 給 与 等

初 任 給 等	採用までの職務内容・経験年数等に応じて条例の定めるところにより決定されます。 （参考）大学卒業程度で採用前に前歴がない場合：月額228,765円（地域手当込） ※ 採用前の前歴等によっては加算があります。
その他手当	扶養手当、住居手当、通勤手当、期末手当、勤勉手当等が条件に応じて支給されます。

※ なお、初任給等は令和7年6月1日現在の条件で表記しています。

8. 勤 務 条 件 等

勤務時間は、1週38時間45分で、原則として週休2日制です。
年次有給休暇等は職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の規定に基づき付与されます。
※なお、勤務条件等は令和7年6月1日現在の条件で表記しています。

9. 社 会 保 険

健康保険、年金ともに地方職員共済組合奈良県支部の組合員（一般）となります。
※年金受給者の方は、給与と年金月額の支給額により、年金の一部が支給停止になる場合があります。

10. そ の 他

この試験の受験者は、合格発表の日から1月間、選考結果（第一次選考の受験者については、第一次選考の総合得点及び順位。第二次選考の受験者については、第一次選考及び第二次選考の総合得点及び順位）について、口頭により提供を求めることができます。

提供方法：選考結果が記録された書面の閲覧（電話での提供は行いません。）

提供場所：〒630-8501 奈良市登大路町30 奈良県庁 本庁舎（主棟）5階
奈良県総務部行政・人材マネジメント課

注意事項：受験者本人の申出のみ有効。閲覧の際は本人確認書類の持参が必要です。

選考結果の提供を求める場合は、事前にお問い合わせください。

(様式1)

令和7年度奈良県任期付職員採用（事務）応募書＜地域福祉課＞

※受付番号		
ふりがな 氏 名	生年月日 昭和・平成 年 月 日	(写真欄) ※顔写真は別途データで提出 してください。応募書データ への画像挿入は不要です。
現 住 所 〒 (電話 — —)		
連 絡 先 〒 (E-mail :) (電話 — —)		
勤 務 先 〒 (電話 — —)		
学 歴 (最終学校とその前2つについて、学部・学科・修学区分・取得学位とその学位論文 名まで記入してください)		
年	月	
職 歴 (会社名・官公庁名・所属部課・役職名・職務内容等を記入してください)		
年	月	
資格・免許・特技等 (取得年も併せて記載してください。パソコンの習熟度についても記載の 事。)		

応募書記入要領

- ※欄を除くすべての欄に、記載例を参考に正しく記入してください。記載事項に不正があると、採用される資格を失うことがあります。
- 数字は算用数字を用い、ふりがなはひらがなで記入してください。
- 連絡先欄には、単身赴任等で職員寮などに居住している場合、休暇などで帰省するところを記入してください。また、現住所以外に早く連絡できる場所があれば記入してください。
- 勤務先欄には、現在就労している勤務先を記入してください。現在就労していない場合は記入する必要はありません。
- 学歴欄の学校名は最終学校とその前2つを、学部・学科は専攻科まで詳細に記入してください。また、学位がある場合には、その学位と学位論文名を併せて記入してください。

(記入例)

平成4	3	〇〇県立〇〇高等学校 卒業
平成8	3	□□大学□□学部□□学科 卒業
平成10	3	△△大学大学院△△専攻科 修了
同上		学位取得 修士（専門分野） 学位論文名「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇」

- 職歴欄は、今までのいっさいの職歴（自営業は含み、短期のアルバイトは除く。）について職歴順に詳細に記入してください。（無職の期間がある場合なども例に従って記入してください。）
役職名が多数ある場合には、就任した順にその役職名を全て記載してください。
なお、欄が不足する場合は、適宜欄を追加するか、別紙（様式任意）を添付してください。

(記入例)

平成10	4	◇◇株式会社 入社	◇◇業務に従事
平成13	4	無 職	
平成14	4	家業（▽▽業）に従事	
平成16	9	〇〇大学〇〇学部非常勤講師（週〇〇時間）	〇〇業務に従事
平成23	4	同 大学〇〇学部助手	□□業務に従事
平成30	7	△△市立△△美術館△△課長	△△業務に従事
令和 6	7	同 副館長	〇〇業務に従事
		現在に至る	

- 資格・免許等欄には、語学検定、特殊技能などがあれば、また、パソコンの習熟度についても記入してください。なお、取得見込みの資格があれば、併せて記入してください。
- 記入不足がある場合は、受付をしない場合があります。（受付をしなかったことにより、申込締切に間に合わなくても、当方では責任を負いかねます。）

(様式2) 国籍要件等確認書の様式

国籍要件等確認書

受験申込者の「日本国籍の有無」	有 - 無
受験申込者の「在留資格の内容」 (※ 外国籍の人のみ記入)	
受験申込者の「生年月日」	昭和・平成 年 月 日
受験申込者の「氏名」	
国籍要件等確認書の「記入日」	令和 年 月 日

応募資格等確認書

私は、次の各号のいずれにも該当しておりません。

また、この応募書類一式の記載内容は全て事実と相違ありません。

- 1 拘禁刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの人
- 2 奈良県職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない人
- 3 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した人

令和 年 月 日

氏 名 _____

(別 紙)

論 文 作 成 要 領

【論文審査課題】「戦没者遺族等に対する援護等を今後どのように進めていくべきか」

<内容>

厚生労働省は戦没者遺族等に対して様々な援護事業を実施していますが、今年、戦後80年を迎え、4月1日より戦没者等遺族に対する特別弔慰金の申請受付が開始されています。

多くの戦没者遺族が高齢化し、戦争を知らない世代が増えていく中で、戦没者遺族等に対する援護を今後どのように進めていくべきか、また、特別弔慰金に関する事務に携わるに当たり、どのような点に留意すべきか、あなたの考えを述べてください。

- 1 Word形式で作成してください。
- 2 用紙サイズはA 4 判（日本産業規格）とし、縦置き・横書きで作成してください。
- 3 字数については、頭書を除き、1, 0 0 0 字以内にまとめてください。

(作成見本)

(A 4 判)

氏 名 ○ ○ ○ ○

「戦没者遺族等に対する援護等を今後どのように進めていくべきか」

(以下、本文を記載してください)